

[協働事業の企画書概要]

<p>事業名</p> <p>事業主体</p>	<p>移動制約者の外出介助サービス事業</p> <p>NPO法人ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる</p>
<p>事業の概要</p>	<p>『どういう問題を解決しようとしていますか?』</p> <p>市の送迎サービス(社協委託)は、利用制限があり、障害者(身体・知的・精神・内部)や高齢者等、外出する事に、困難や不安がある移動制約者のニーズを満たしていない。通院に限定、介助が無い、土・日・祝・早朝夜間の利用不可など営利事業者のサービスは高額な事が多い。</p> <p>これらを補完するサービス(介助、付添+車両)を5年前から実施。市民がもつ社会資源(運転や介護の技能、時間や知恵等)を發揮して「新しい公共」の観点から、コミュニティに必要なサービスとして認知されている。</p> <p>昨年度実績: 3055件 4515時間</p>
<p>どういう主体と協働するのがよいと考えていますか?</p>	<p>主体A: 大和市保健福祉部、市民活動課</p> <p>主体B: 市内の保健福祉、医療関係機関</p> <p>主体C: 福祉送迎を担う団体</p>
<p>協働事業としてそれぞれの主体に何を期待していますか?</p>	<p>主体A: 移動制約者の移動権利の自由を保証。 財政負担、情報の提供、福祉車両や必要機材の保管場所。事業所スペース・会議室 etc</p> <p>-----</p> <p>主体B: 利用者ニーズに関する情報の提供</p> <p>-----</p> <p>主体C: 共育と連携、ネットワーク化</p>
<p>その他</p>	